

(学校名) シンガポール日本人学校 [小学部・中学部]

学校・周辺環境



【学校について】

・島内の西側にクレメンティ校と中学部、東側にチャンギ校を構えています。
2018年4月15日時点の児童生徒数
：小学部 クレメンティ校821名、チャンギ校912名、中学部455名
職員数(三校)
：教員128名、外国語講師51名、事務21名、警備員19名

・4月始まりの3学期制です。
世界の日本人学校の中でも大規模な学校で、転出転入は年間を通じて大変多いです。
・1966年開校と歴史がありますが、校舎の改修を進めており、教室や特別教室はとても綺麗です。

小学部クレメンティ校



小学部チャンギ校



中学部



【授業の様子】

クレッ子、チャンギッ子、ジャパ中生として、子どもたちは健やかに学習に励んでいます。
とても素直で明るく元気な子が多いです。年間を通じて転出・転入がとても多く、そのためかどの子ども友達に優しいです。

当校の特色として以下のことに力を入れています。

◆ICT教育 … 各校舎に無線LANを設置、小学部1年生でCromebook操作を覚え始め、4年生から中学生までは1人1台Cromebookを使用できる環境にあります。
小学生のうちからITを活用しながら、調べ学習、プレゼンテーションやレポートをまとめる技術を身につけます。また年に1度発行する文集には全児童生徒が自分で打った文章を載せています。情報モラルの育成、定着も図っています。

教員にも1人1台iPadを支給。小学部ではその他各教室にあるApple TV、液晶テレビを、中学部ではパソコンやプロジェクター等を活用して見せ方を工夫し、分かりやすい授業を作り上げています。

◆英語教育 … 小学部、中学部共に英語教育の充実を図っています。
習熟度別の英会話の時間を週数時間設けているほか、小学部では音楽・水泳、中学部では音楽・美術・家庭科・体育でイメージ教育(外国人の先生が英語で指導し日本人の先生がサポート)を行っています。
より質の高いコミュニケーション能力を育てるため、活きた英語を使う環境が整っています。

◆日本や世界の文化理解 … 多民族国家シンガポールに暮らす者として、世界の文化理解も深めながら、日本の文化や日本人の感性をしっかりと継承します。
日本人としてのアイデンティティ確立に力を注ぎ、真の国際的な人材の育成をしています。

クラブ活動は小学部4～6年生で週に1度実施、中学部の部活動は週に2～3日(希望者のみ、放課後)実施しています。



【主な行事】

小学部


- 1学期：入学式、5年C-camp、音楽発表会、日本人墓地公園清掃
- 2学期：運動会、6年修学旅行、英会話行事(ティババリ等)
- 3学期：書初め大会、水泳記録会、チャイニーズニューイヤー行事、卒業式、修了式

中学部

- 1学期：入学式、体育大会、日本人墓地公園清掃
 - 2学期：合唱コンクール、1年野外活動、2年職場体験プログラム
 - 3学期：2年修学旅行、卒業式、修了式
- 総合考査は年4回実施

※日本に準じた学校行事をメインとしていますが、中国・マレー・インドなどの行事も一部取り入れています。



	<p>【現地理解教育・国際交流】 三校共に現地校との活発な交流を行っています。 小学部ではホームステイ体験（現地校の家庭とペアを組み、お互いの家に1泊するイベント）も実施しています。 小学部、中学部共に修学旅行（過去の先行：ベトナム、マレーシア、タイ等）では現地の学校を訪れ、お互いの文化に触れ、理解を深めています。</p> <p>教員としての関わり … 上記以外にも、互いの学校の施設や授業を見学し教育プログラムの違いを学んだり文化を紹介し合う職員交流会を行い、現地校の教員と親睦を深めています。</p>
--	--

生活環境

	<p>【住居】 住居は学校が用意するコンドミニアムで、門には警備員が常駐しています。 大抵のコンドミニアムには大型プールやスポーツジム、テニスコート、バーベキュースペースが備えてありいつでも自由に使えるため、リフレッシュに最適です。 勤務1年目は教員2～3名でルームシェアをします。1人1部屋、家具とバスルームが付いているので、プライバシーも確保され快適です。通勤は徒歩かバス利用。</p> <p>住居内は家電（テレビ、冷蔵庫、洗濯機）や家具（ベッド、テーブル、椅子）類がひと通り揃っています。消耗品（タオルやシーツ含む）は各自でご用意ください。</p> <p>シンガポールは世界的に見てもとても安全な国と言われています。国内には防犯カメラが至る所にあり、犯罪抑止に一役買っています。もちろん自己責任で気をつけるべき所はありますが、海外ながら安全に快適に暮らせるのはシンガポールの大きな特徴と言えます。</p>
	<p>【周辺のお店・病院等】 周辺のお店 … シンガポールには飲食店、スーパーマーケットや市場が多く、生鮮食品から調味料まで揃いとても生活しやすい環境です。百円ショップならぬ「2ドルショップ」も多数あるので、食器や学校で使うものなどの購入はこちらで問題なく行えます。</p> <p>また街中の至る所にホーカーセンターやフードコート（食堂）があり、1食4～500円程で多国籍の料理を楽しむことができます。 少々割高ではありますが日系の衣料雑貨店や飲食店も出店しているので、日本とほぼ同等のものが入手できます。</p> <p>病院 … 病院は、ローカルのほか日系の病院が4～5つほどあります。自分にあつた病院で日本人医師に診てもらえるので安心です。学校保険に加入しますのでキャッシュレスです。（歯科は対象外）</p>
	<p>【物価・休日・現地独自の文化等について】 物価 … 日本と同じ、もしくはそれより少し高いです。 酒類は日本より高く、また販売時間に関して制限があります。 交通費（市バス・地下鉄・タクシー）は日本の約半分と、とても安いです。</p> <p>休日 … 日本人会関係の行事に参加する時もありますが、普段は、同僚やシンガポールの友人と買物をしたり美味しい物を食べに行ったり、趣味のサークル活動に参加、語学の習い事をするなどができます。世界有数の観光地であるシンガポールには見所がいっぱいです。 長期休みには国外旅行をする教員が多いです。（旅行先例：マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、モルディブ等）</p> <p>現地独自の文化 … 多文化・多宗教の国で、たくさんの宗教と人種の人が仲良く生活している国であるため、シンガポール人はとても親切です。一つの国の中で多種多様な文化、街並み、食べ物味わえるのも魅力の一つです。</p>

応募者へのメッセージ

<p>校長より</p> <p>教員の仕事は多岐にわたり、様々な経験が一生の財産になります。みなさんのご経験をシンガポール日本人学校の役に立ててほしい、また、シンガポールでのご経験はみなさんのこれからの人生にきっと役に立つ、そんな期待をもってご応募をお待ちしています。 各地から赴任いただいた日本人教員のほか、多くのノン・ジャパニーズの教員がいて、協力して学校運営がなされています。ICTはどの教科でも活用されており、児童生徒とともに自然にスキルアップしていきます。多文化社会のシンガポールは治安もよく、さまざまなふれあいはそのまま国際交流であり、英語や中国語の学習機会も豊富です。 チャンスに向けて果敢に挑む、笑顔とやる気にあふれた方のご応募をお待ちしています。</p>

<p>学校採用教員より</p> <p>シンガポール日本人学校は、大規模校です。そのため、全国から集まってくる熱意のある先生方、様々な文化をもつ英会話講師の数が多く、毎日が新鮮で学ぶことが多いです。日本と同じ学習+シンガポールならではの学習を行うことができるので、忙しい毎日ですが、充実しています。 海外に住んでいても、基本は日本語での仕事なので、英語を使うのは日常場面のみです。けれども、せっかく多文化な背景をもつ外国人講師がたくさんいるので、積極的にコミュニケーションをとるようにしています。そうすることで、少しでも自分の英語力もあがっているような気がしています。 また、子ども達も日本全国、そして他国の日本人学校などから転校してきます。様々な学校の様子を知ることができ興味深いです。長く住んでいる子も多くなりますが、3・4年程度在籍する子が大多数です。友達との出会いや別れの繰り返しが多い分、どの子も優しく、また、シンガポールの生活に溶け込みながら、勉強も運動も学校行事も全力で取り組む素直でまっすぐな子ども達です。そんな子ども達と毎日楽しく過ごしており、充実しています。 シンガポールは、大都会です。日系の百貨店、スーパー、商品、ご飯屋さんが数多くあり、日本と同じような生活を送ることができます。（もちろん、割高ですが）日系の病院も多数あり、住居もきれいで広く、施設が充実しているので、とても快適ですし安心です。 日本にはない忙しい部分も正直ありますが、それ以上のここでしかできない経験が得られます。 ぜひ、熱意のある先生方と一緒に働ける日を楽しみにしています。</p>
--